

1. はじめに

地域独特の素材や技術を使って形成されてきた地域文化や地域景観は、近年、画一的な材料や大規模な技術によって混迷を深めている。また、地域文化の喪失により、従来、親から子へと継承されてきた地域の知識や作法も断絶の危機に瀕している。

そこで本研究では、滋賀県甲賀郡甲西町菩提寺地域を対象地として現地調査や地域住民への環境心理学的なアプローチを通じて発見された地域資源に着目し、地域文化や地域景観の総体的な保全と活用を目的として、地域性ある景の構造を明らかにした。

2. 研究の手法

2つの方法を用いて地域資源の調査を行い、地域資源をGISを用いて整理した。

① 地域資源の把握をするために地域資料の収集や村絵図等の収集・分析と実際に現地で地域資源の踏査調査を行った。また、地域をよく知る住民に対して地域の歴史的変遷に関する聞き取り調査を行った。

② 環境心理的な観点から地域資源の内容的把握を把握するために地域住民の感じている地域資源の背景を把握するためのイメージマップ調査を行った。また、様々な活動を通じた地域住民とのコミュニケーションを通じて生活に密着した調査を行った。

3. 地域資源調査

① 歴史的地域資源の調査

菩提寺の歴史年表¹⁾をもとに現在も現地保存されている地域資源やそれに関わる伝承等の調査を行った。

その結果、菩提寺地域は社寺仏閣の数が多く、また石仏や古墳といったものも多く残されていることが明らかになった。また、明治時代に国営の砂防工営所が設けられ、地域の砂防工事を村民総出で行った工事成功の歴史に関する地域資源も多く発見された。

② 戦後の地域の変化

地域住民の生活体験に基づいた地域の変化について聞き取り調査や写真の収集などを中心に行った。その結果、新旧住民によって地域に対する認識が異なることが明らかになった。しかしながら、両者とも地域の変化に対しては極めて柔軟な姿勢であり、体験や活動を通じた地域文化や知識の継承を行っていた。また、近年では地域の良さを後生に伝えるため、小学生に作稲体験の場を提供するグループや自宅を開放した展示会を行う芸術家のグループなど独自に活動を行っているグループもあった。

4. イメージマップ調査

イメージマップ調査は、地域資源の位置関係を確認するだけでなく、住民の方々が持つ地域に対する個人の経験や体験に基づいたバイアスを通じた地域像を手描き地図の上に表現していただくことによって、地域背景を効率的に聞き取ることを調査の主な目的とした。

調査は、地域に子供時代から住む古老6人と住宅団地建設後に移り住んだ住民8人を対象に行った。

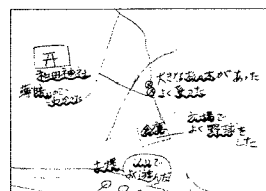


図1 イメージマップ調査

① 地域資源のキーワード

イメージマップより248キーワードが抽出された。また、抽出されたキーワードをその特徴からカテゴリー化すると「地形」「歴史的背景」「社寺・仏閣」「施設」「特別な意味づけのある場所」「住居エリア」「植物」「生き物」「農業」「行事」「遊び」「ネットワーク」「交通」「その他」の14種類に分類された。

② 地域資源のグループ

イメージマップに描かれた地域資源は、一般的に複数の資源が1つのグループとして存在した。こうしたグループ内の資源間には密接な関係があると考えられる。本調査では、イメージマップから全部で245のグループを抽出した。

5. 地域資源の型

調査より発見された地域資源をその特徴や性質から以下の3種類に類型化でき、それぞれの地域資源の型の間には結びつきがあることがわかった。(図2)

また、分類された地域資源には、位置や時間、内容などの属性があることが明らかになった。

- ① 視覚的資源：一般名詞や固有名詞でよばれ、人間の視覚によって強く認識される資源のこと
- ② 意味資源：信仰や歴史的事実、地域の知識など地域の中で共有されている内容資源で不可視
- ③ 体験・活動資源：視覚的資源と意味資源を結びつける日常生活や行事などの体験や活動

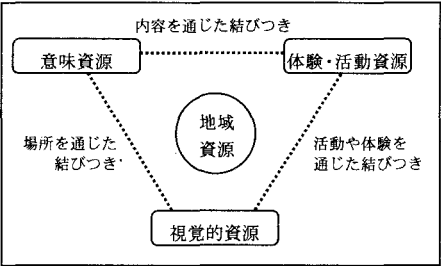


図2 地域資源の型の関係

6. 地域資源と地域の景の構造

地域資源は、独立して存在することはきわめて少なく、複数の資源が同時にグループで存在していることがイメージマップ調査より明らかになった。こうした資源のグループの中に現地調査や文献より得られた情報を加えると表1のような地域資源群の存在が明らかになった。

表1 地域資源群の例

1	・雨山	・洪水	・笹尾ヶ嶽	・砂防工事	・龍池藤兵衛
	・デレーケ	・土石流	・ハゲシバリ	・ハゲ山	・菩提寺山
2	・斎神社	・境内	・斎宮の休憩	・しだれ桜	・花見
	・社				
3	・映画のロケ	・大山川	・軍隊の演習	・洪水	・砂原
	・土石流	・広野			
4	・西応寺絵図	・坂上菊田麻呂	・新興住宅建設	・中央道路	・都市計画道路
	・たたり	・山の神古墳			
5	・阿弥陀院	・小川	・綿り道	・ザリガニ	・サワガニ
	・生物採取	・八王子神社	・保育園	・湯立	・わき水
6	・カントリークラブ	・北山台	・気持ちが悪い	・暗い	・近道
	・トンネル	・中村山田			
7	・荒川谷	・希望ヶ丘	・サイクリング	・山菜	・ピクニック
	・ミソバツツジ	・野草			

複数の地域資源が複雑に関係し、形成された資源群こそが景であり、地域の景は人々の視覚を通じて心理的にその地域背景が絡み合うことによって共感される地域資源群であると考察される。(図3)

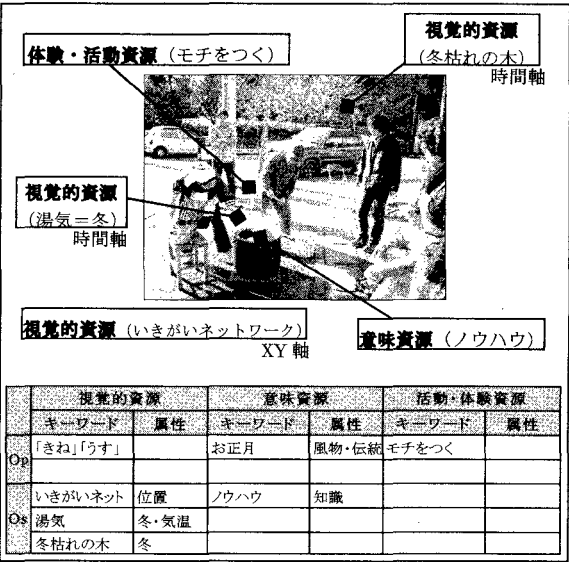


図3 地域の景とその構造の一例

7. おわりに

本研究で得られた知見は以下の通りである。

- ① 地域資源には、視覚的資源、意味資源、体験・経験資源の3つの資源の型があり、これらの資源には、位置や時間といった付加的情報を示す存在の属性があることを導き出した。また、資源をキーワードとしてデータベース化する指針を導き出すことができた。
- ② 地域の景は、複数の地域資源の組み合わせから成立している。また、資源の属性が地域の景に対して趣を加える要因となっている。こうした地域に調和した景こそが地域性を示す源泉である。このため、地域資源は単独で保全・活用するのではなく、地域景の一部として保全・活用する必要がある。

参考文献 1) 菩提寺の歴史略年表 鈴木儀平 2000